

# 小谷場中だより

川口市立小谷場中学校

〒333-0857

川口市大字小谷場1156番地

TEL 048(267)1055

FAX 048(267)1069

教育目標〈自主 協働 創造〉 校訓〈力の限り〉

11月号 令和3年11月1日

## 進路選択

教頭 大倉 芳樹

10月後半から急に寒くなり、朝布団から出るのが少し億劫に感じられるようになりました。学校では正門を入れて下り坂の右側に並ぶ7本のハナミズキの葉が一足早く、茶や赤に染まり、反対側の「やすらぎの森」の木々の一部も所々黄色い葉が目立ちはじめました。緊急事態宣言解除後は以前に比べて人出が多くなりましたが、町の色どりからも季節の移り変わりを感じられるようになりました。そんな中、新型コロナウイルス感染症については、ここ数日でかなり落ちついてきましたが、学校ではこれまでと同様に感染予防対策を進めてまいります。また、気温が低くなったこともあり、体調を崩す生徒も少し増えてきたようです。ご家庭においても、感染予防対策、お子様の体調管理について引き続きご協力をお願いいたします。

さて、ちょうど1週間前に3年生を対象に保護者同席のもと、進路説明会を開催し、多くの皆様にご来校いただきました。あらためてお礼を申し上げます。ありがとうございました。3年生にとって3ヶ月後には受験を迎える生徒もおり、先生の話真剣に聞こうとする姿勢がひしひしと伝わってきました。さて、そんな中で以前、皆さんに進路に関するアンケートを実施しました。「進路先として高校を選ぶ際に自分が特に大切にしているポイント」は何かとの問いに対して、「通学時間・通学方法」と回答した生徒が最も多いという結果でした。また、「高校を選ぶ際に気になることは何ですか」との問いには、「校則が厳しいこと」が群を抜いて多い結果となりました。

私の高校時代の話ですが、当時学校まで電車を乗り継ぎ片道1時間半かけて通学をしていました。部活の朝練習があるときは、朝4時過ぎに起床して始発電車に乗り通学することもありました。往復3時間かけての通学は当時きつく感じたのはいうまでもありませんし、高校が家から近いほうが時間も有効に使えます。しかし、通学に時間はかかりましたが、登校するのがつらいと思ったことは一度もありませんでした。そのことを中学での先生方に相談したり、自分の目で実際に高校を見て、この高校なら将来やりたいこと（私は生物に興味があり、その道に進みたいと考えていました）を目標にしながら、勉強と部活動に力を入れることができると考え、自分自身でその高校を選びました（ちなみに、高校生活を送る中で他のことに興味が変わり、その後は違う進路を目指しました）。

話は戻りますが、進路先として高校を選ぶ際、人それぞれにいろいろな考えや基準があると思いますが、その中に高校卒業後あるいは大学、専門学校を出た後、どのような自分の姿を描いているか。どのようなことをしているか。そういうことを考えながら、家族や先生、クラスメイトと、将来のことを話題にすることも進路を選ぶ上で大事です。そして、自分にとって最善最良の進路選択となることを職員一同祈っております。